

妊婦様へのインフルエンザ 予防接種のお知らせ

- 接種期間：令和元年 10 月～ 入荷次第開始

効果出現には 2～3 週間要します。10～11 月中に接種を済ませましょう。

- 接種可能時期：妊娠中は随時可能（※1）

- 費用：防腐剤なし 4500 円、防腐剤あり：4000 円（※2）

ワクチン製剤には数に限りがございます。

妊婦様には優先的に防腐剤（チメロサル）なしの製剤を使用します。

- 接種回数：1 回

- 申込み：先着予約順です。受付でご予約下さい。

ワクチン在庫があれば当日のお申込みでも予防接種が可能ですが、確実にワクチンを確保するためにご予約をお勧めします。

妊娠中は免疫力が落ち、風邪やインフルエンザなどの感染症にかかりやすくなります。さらに妊娠中にインフルエンザにかかると、肺炎など重症化が懸念されます。対策の基本は予防接種を受けること。不活化ワクチンであるインフルエンザワクチンは、妊娠中でも安心して受けていただくことが可能です。

日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会の見解（抜粋）

（※1）妊婦へのインフルエンザワクチン接種はインフルエンザの重症化予防に最も有効であり、母体及び胎児への危険性は妊娠全期間を通じてきわめて低い。また妊婦にインフルエンザワクチンを接種することにより、生後 6 ヶ月までの児のインフルエンザ罹患率を減少させる。生後 6 ヶ月未満の乳児に対するインフルエンザワクチン接種は認められていないため、妊婦へのワクチン接種は妊婦と乳児の双方に利益をもたらす可能性がある。

（※2）防腐剤含有のインフルエンザワクチン製剤も、その防腐剤濃度はごく少量であり、胎児への影響はないとされている。防腐剤含有ワクチンを妊婦に投与しても差し支えない。

当院では妊婦様のインフルエンザ
予防接種を強く推奨しております